

第66期 株主通信

平成24年4月1日～平成25年3月31日

株主の皆様へ

TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「第66期 株主通信」をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当社ではグループ事業の選別・再構築に取り組んでおり、第66期におきましては、フェニックス証券株式会社の経営状況や事業環境などを総合的に勘案した結果、同社は金融商品取引業を廃止し、解散いたしました。また、株式会社フジトミは、販売競争の激化により事業計画が当初計画を下回っていた株式会社エコ&エコ（太陽光発電機・オール電化機器等の販売）の株式の過半を売却し、同社を連結対象外といたしました。こうした不採算事業からの撤退を進める一方で、新たに映像コンテンツ配信業務を開始した他、不動産販売による売上高が業績に寄与しております。

当社は、投資・金融サービス業（商品先物取引）、生活・環境事業（生命保険・損害保険の募集、LED照明等の販売、映像コンテンツ配信業務）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業（不動産賃貸業、宅地建物取引業）、その他（インターネット広告業等）、を営む各社の経営管理を行い、全力で業績回復に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

平成25年6月
代表取締役社長 細金 成光

業績予想について

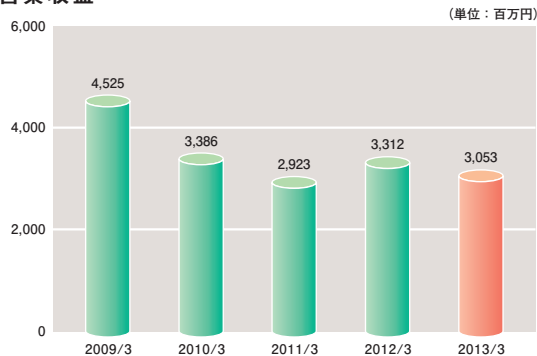
当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

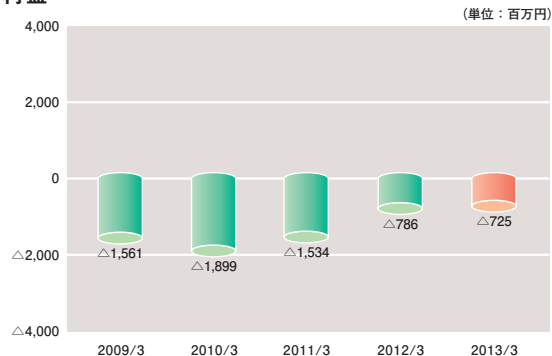
連結業績の推移

Highlight

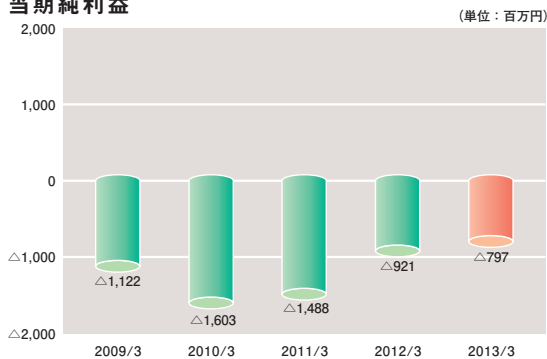
営業収益



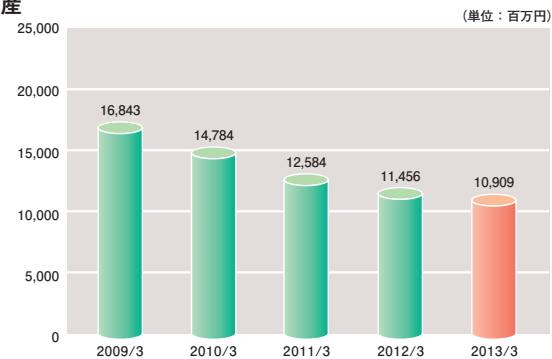
経常利益



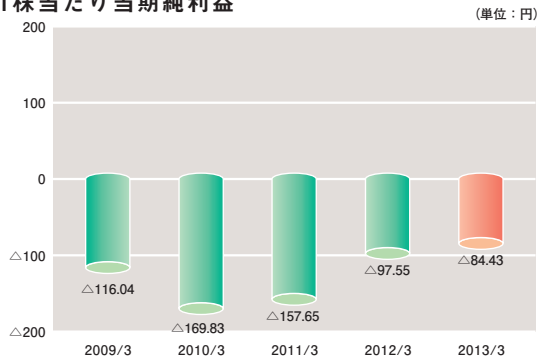
当期純利益



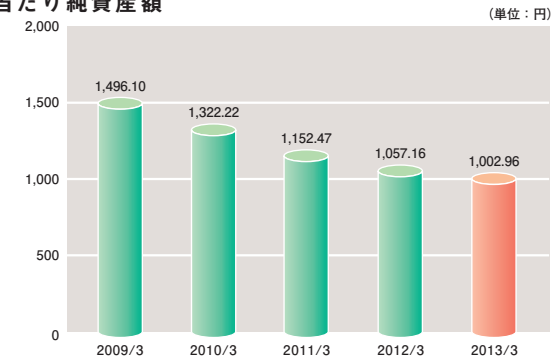
純資産



1株当たり当期純利益



1株当たり純資産額



連結財務諸表

●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成25年3月31日現在)	前期 (平成24年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	7,823	9,493
現金及び預金	4,430	5,438
保管有価証券	170	96
委託者先物取引差金	640	435
差入保証金	1,945	1,804
預託金	9	944
その他の金	630	783
貸倒引当金	△ 1	△ 7
固定資産	6,757	5,806
有形固定資産	4,189	3,642
無形固定資産	172	101
投資その他の資産	2,394	2,062
資産合計	14,581	15,299
負債の部		
流動負債	2,966	3,243
預り証金	2,736	2,940
その他の金	230	303
固定負債	656	530
特別法上の準備金	48	68
負債合計	3,671	3,843
純資産の部		
株主資本	8,957	9,762
資本	2,000	2,000
資本剰余金	888	888
利益剰余金	6,523	7,328
自己株式	△ 454	△ 454
その他の包括利益累計額	514	221
少数株主持分	1,437	1,471
純資産合計	10,909	11,456
負債・純資産合計	14,581	15,299

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業収益	3,053	3,312
営業総利益	1,833	2,247
営業費用	2,525	3,159
営業損失	692	912
営業外収益	61	141
営業外費用	94	16
経常損失	725	786
特別利益	188	76
特別損失	242	295
税金等調整前当期純損失	779	1,005
法人税、住民税及び事業税	14	16
法人税等調整額	0	114
少数株主利益	2	△ 214
当期純損失	797	921

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区分	当期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)	前期 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 148	△ 314
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	21	1,417
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 32	△ 12
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 160	1,090
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	2,665	1,574
VII. 現金及び現金同等物の期末残高	2,505	2,665

●業績の概要

平成25年3月期において、投資・金融サービス業は、外国為替証拠金取引の業者間の競争激化による影響や経営状況などを総合的に勘案した結果、フェニックス証券株式会社は金融商品取引業を廃止し、解散いたしました。また、一部の事業部門において収益力の急速な低下が顕著となっており、受取手数料は1,325百万円に留まりました。自己ディーリング部門は、証券部門の不振に加えて、商品先物取引部門が損失を計上する結果となり、売買益は38百万円に終わりました。

生活・環境事業は、採算改善や安定収入の確保のため事業内容の見直しを行い、太陽光発電機、オール電化機器等の販売事業は、販売競争の激化により利益率が低下している事業環境や業績の推移が当初計画を下回っていることなどを総合的に判断した結果、株式会社フジトミは、同社保有の株式会社工コ&工コの株式の過半を売却し連結対象外としました。また、新たな収益源として映像コンテンツ配信業務を開始しております。こうした事業構造改革を行ったこともあり、売上高は186百万円となっております。

スポーツ施設提供業は、天候条件などに大きく左右された事業環境でありましたが、地道な営業活動によって売上高は400百万円となっております。これらの事業以外では、不動産販売による売上が新たに業績に寄与した不動産業の売上高が985百万円となっており、その他の事業を含めた営業収益は3,053百万円、営業総利益は1,833百万円となっております。

一方、グループ事業の再構築により営業費用は2,525百万円まで削減されましたが、経常損失725百万円となりました。また、投資有価証券売却益108百万円などの特別利益188百万円を計上しましたが、厚生年金基金代行返上損98百万円、減損損失54百万円、事業構造改善費用32百万円などの特別損失242百万円を計上したため、当期純損失は797百万円となりました。

投資・金融サービス業

業界最新のシステムを導入したフジトミのオンライン商品先物取引「FITS」

顧客満足度No1を実現するためにお客様のご意見から開発されたシステムです。パソコン操作が苦手な方や既存のトレードシステムでは物足りなさを感じるベテランの方にもご満足いただける取引環境を低廉な手数料にて提供しております。お客様の幅広いニーズにお応えし、業界最多の約370の銀行で利用可能なクイック入金やシェアが急速に拡大しているタブレットやスマートフォンにも対応しております。



<http://www.fits.cx/>

生活・環境事業

豊富な商品ラインナップより、お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



取扱保険会社

●生命保険●

東京海上日動あんしん生命
三井住友海上あいおい生命
NKSJひまわり生命
メットライフ アリコ
アメリカンファミリー

オリックス生命
AIG富士生命保険
アクサ生命
ジブラルタ生命

●損害保険●

三井住友海上火災保険
損害保険ジャパン
日本興亜損害保険
朝日火災海上保険
富士火災海上保険


そんぼ 24 損害保険
東京海上日動火災保険
セコム損害保険
アニコム損害保険
日新火災海上保険

株式会社フジトミ

【ご相談窓口・資料請求】

営業時間9:00~18:00 (土・日・祝日を除く)


本社保険事業部

 0120-27-2413

TEL 03-4589-5500

Eメール hoken@fujitomi.co.jp

福岡オフィス

 0120-60-2960

TEL 092-846-2960

Eメール hoken-f@fujitomi.co.jp

ふくろうの保険

で

検索

<http://www.fukurou-navi.com/>

スポーツ施設提供業

平成25年4月27日(土) 圏央道市原鶴舞ICが開通！
コースへのアクセスが便利になりました。

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯ゴールドクロスカントリー倶楽部

エバーグリーンの広大なステージ。
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。
フェアウェイ・ティーグラウンドに
寒地型芝草(ペレニアルグラス)をオーバーシーティングして、
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。

千葉県長生郡長南町市野々575
TEL 0470-82-5211



不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。
平成25年1月7日(月) 相鉄フレッサイン日本橋人形町がオープンしました。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し、安定した収益を確保しております。
また、収益の更なる上積みが見込まれる不動産販売におきましては、
今後も優良物件の取得に努めてまいります。

平成25年3月期におきましては、
これまで賃貸駐車場として活用しておりました当社保有の隣接地に、
より収益性の高い有効活用手段としてビジネスホテルを建設し、
相鉄グループである(株)相鉄イン開発に一括賃貸しております。

相鉄フレッサイン日本橋人形町
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4



株式の状況

平成25年3月31日現在

会社概要

■ 株式数	発行可能株式総数	27,000,000株
	発行済株式総数	10,094,644株
■ 株主数		7,893名
■ 大株主		

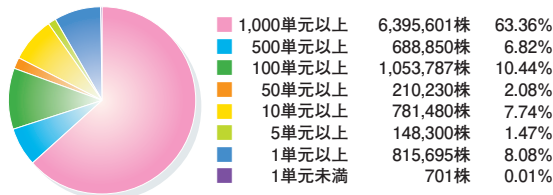
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社 東京洋行	1,427	15.11
細金 獅 生	1,401	14.84
株式会社 りそな銀行	463	4.90
株式会社 みずほ銀行	330	3.49
共和証券株式会社	312	3.30
細金 英 光	263	2.79
細金 成 光	262	2.78
細金 千 恵 子	170	1.79
パーシングディヴィジョン オブ ドナルドソノラフキン アンド ジェンレット エスイーシー コーポレーション	161	1.70
トウヨウ セキュリティーズ アジア リミテッド アカウント フリーホープ	160	1.69

- (注) 1. 上記のほか、当社保有の自己株式650千株(持株比率6.44%)があります。
 2. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況 (1単元 100株)



商 号	株式会社 小林洋行
英 訳 名	KOBAYASHI YOKO CO., LTD.
本 社	〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号
設 立	1949年(昭和24年)3月26日
資 本 金	20億円
主な事業内容	・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務 ・不動産賃貸業
役 員	取締役会長 山下 英 樹 代表取締役社長 細金 成 光 取締役 宮崎 誠 二 取締役 大丸 直 樹 常勤監査役 奥田 啓 二 監査役 霞 信 彦 監査役 加藤 周 二

(注) 監査役霞 信彦氏及び加藤周二氏は、社外監査役であります。

連結従業員数 142名(平成25年3月31日現在)
 主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・
 三井住友信託銀行株式会社
 小林洋行グループ(連結子会社)
 株式会社フジトミ
 (大阪証券取引所JASDAQ 証券コード8740)
 株式会社共和トラスト
 株式会社日本ゴルフ倶楽部
 (ゴールドエンクロスカントリークラブ運営)
 株式会社小林洋行コミュニケーションズ

株主メモ

事業年度

(毎年4月1日から翌年3月31日まで)

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理人である日本証券代行株式会社までご連絡ください。

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である日本証券代行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ (<http://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<http://www.kobayashiyoko.com/>

株主優待制度

毎年3月31日現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上 1,000株未満 おこめ券 2枚
所有株数 1,000株以上 おこめ券 5枚

※おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。

